

【東日印刷グループ 毎日新聞首都圏センター海老名工場】 新聞印刷工場で育てている“えびなメダカ” 地域のお祭りで「メダカすくい」が大盛況

東日印刷株式会社（本社：東京都江東区、社長：武田芳明以下、TONICHI）のグループ企業 株式会社毎日新聞首都圏センター（本社：埼玉県川口市、社長：渡邊雅春）の海老名工場は、“えびなメダカ”（*）を養殖し7月から毎週末、敷地内でメダカの無人販売を行っています。8月に行われた地域のお祭りでは、初めて「メダカすくい」に出店し、200名ほどが来店。用意していた400匹以上のメダカがお祭り終了前にすべてすくわれるほどの大盛況でした。今回はその様子をレポートします。

（*）「えびなメダカ」は品種ではなく、海老名工場で養殖・販売しているメダカの総称です。



（左上）メダカすくいの準備中
（左下）小さなお子さまも一生懸命すくっていました

（中央）「何匹すくえるかな」
3世代で見守る姿にほっこり

（右上）お店の外はお客さんであふれていました
（右下）ヘルメット着用は仕事の基本。もちろん今日も着用です！

今回出店したのは、海老名工場と同じ自治会に所属する富士フィルムビジネスイノベーション株式会社 海老名事業所が開催した夏祭りです。新型コロナウイルスの影響で中止が続いていましたが、今年は4年ぶりに復活。同社の社員ご家族のみならず近隣住民の方も入場可能で、毎回数千人が来場する地域交流イベントです。

当日は小さなお子さまを中心に200名ほどが来店、途中行列ができるほどの盛況ぶりでした。多くの方に楽しんでいただくため、取れても最大5匹まで、取れなくても3匹プレゼントとしていましたが、イベント終了40分前には用意していた400匹以上のメダカがすべてすくわれるなど、多くのお客さまに楽しんでいただけました。普段、新聞の印刷現場で働く従業員の一人は「いつもの仕事でこんなに多くの、特に小さなお子さんと接する機会がないので最初は戸惑いましたが、真剣な表情でメダカをすくっては喜んだり、悔しがったりする姿を見ると、やってよかったなと思います」と話していました。

海老名工場は日頃から自治体の活動や行事に積極参加しており、今後も「地域に親しまれる工場」を目指し、地域に貢献できる活動を行ってまいります。

〈本件に関するお問合せ〉

東日印刷株式会社 プロモーション本部

<https://tonichi-printing.co.jp/inquiry.html>

*東日印刷 お問い合わせ」で検索ください